

2018年9月27日

生分解性プラスチック「BioPBS™」を使用した紙コップの発売について

三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之、以下「当社」）の生分解性プラスチック「BioPBS™」を用いた紙コップが、日本紙パルプ商事株式会社（本社：東京都中央区 社長：渡辺 昭彦、以下「日本紙パルプ商事」）より10月に販売開始されます。

BioPBS™は、当社が開発、基本特許を有し、当社と PTT Global Chemical Public Company Limited が折半出資する PTT MCC Biochem Company Limited（本社：タイ王国バンコク市、社長：杉本 龍一郎）が製造する植物由来の生分解性プラスチックで、土中の微生物によって水と二酸化炭素に分解されるため、自然環境への負担が少ないという特徴を有しています。今般、日本紙パルプ商事は、そうした生分解性に加え、BioPBS™の耐熱性・柔軟性・シール強度に注目し、BioPBS™を従来のポリエチレンに代えて紙コップの内面ラミネートに用いることとしました。

当社は、BioPBS™について、従来のコンポストバッグや農業用マルチフィルム向け以外に、コーヒーカップセル、紙コップ、ストローなどの食品関連等、多方面への用途開発を進めており、既に複数の海外大手ファストフードチェーン等との協議を行っています。

当社は、三菱ケミカルホールディングスグループが掲げる「KAITEKI※」の実現に向け、今後も BioPBS™ をはじめとする生分解性プラスチックや植物由来プラスチックの研究開発・用途展開を加速させ、循環型社会の構築や SDGs の達成に貢献して参ります。

※ 三菱ケミカルホールディングスグループのオリジナルコンセプトで、「人、社会、そして地球の心地よさがずっと続していくこと」を表します。



BioPBS™を使用した紙コップ

以上

本件に関するお問合せ先

(株) 三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室

電話: 03-6748-7140